

# 選挙の概要

## 選 挙 の 概 要

県議会議員の議員定数及び選挙区は、県議会平成30年11月定例会において、「県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例」（平成10年宮城県条例第22号）による各選挙区において選挙すべき議員の数のうち、富谷・黒川選挙区（定数2から3に）と宮城選挙区（定数1から2に）の定数をそれぞれ1増やし、石巻・牡鹿選挙区（定数5から4に）と気仙沼・本吉選挙区（定数2から1に）の定数をそれぞれ1減らす、いわゆる2増2減の改正が行われた。しかしながら、改正後の施行時期は東日本大震災からの復興の状況に留意し、被災沿岸市町の住民の意見を県政に十分に反映させられるよう宮城県震災復興計画終了後の令和3年4月1日とされた（そのため、令和元年10月の選挙では改正前の条例に基づき執行された。）。令和3年6月29日に設置された宮城県議会議員定数・選挙区等検討委員会（以下「検討委員会」という。）は、令和2年国勢調査の結果と「議員定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数」を検討するに当たっての基本的事項に基づき、様々な観点から慎重に検討が行われた結果、令和4年10月21日、現行条例を改正する必要はなく、2増2減を行うとした報告書が県議会議長に提出され、令和5年11月12日に任期満了を迎える県議会議員一般選挙から適用されることとなった。

今回の県議会議員一般選挙は、令和5年6月19日（月）に開催された県選挙管理委員会において、同年10月13日（金）告示、同年10月22日（日）投開票と決定した。

選挙事務は、県下8か所の県選挙管理委員会事務局地方支局で行われ、10月13日の告示日には、午前8時30分から午後5時までの間、立候補届出受理を行い、23選挙区で59の議員定数に対し、男性70人、女性14人の計84人が立候補した。このうち5選挙区の10人は無投票となり、残る18選挙区において9日間の選挙戦が展開された。

選挙啓発では「投票で 未来をつくろう その手から」のキャッチフレーズのもと、啓発ポスターの掲出やチラシの配布、テレビスポットCM、特設Webサイトの開設、巡回広報のほか、若年層の選挙に対する心理的なハードルを下げ、選挙に興味・関心を持ってもらえるよう、昨年度執行された第26回参議院議員通常選挙の「猫」に引き続き、好感が持たれる身近な動物である「犬」を選挙啓発キャンペーンの主役に起用し、気軽に行ける会場で、“投票すること”の容易さを体験するイベント「<sup>けん</sup>議会議員選挙」を開催するなど、幅広い世代への影響力と話題性を併せ持ったキャンペーンを展開した。また、投票率向上に向けた取組として、投票所に来場した証として、また次回以降も投票所へ足を運んでいただくため、県選挙管理委員会として初めて「投票所来場カード」を作成した。

選挙期日における投票は、県内701か所の投票所で行われた。当日は晴一時雨という天候のなか、県平均の投票率は35.93%となり、前回（令和元年：34.80%）と比べ、1.13ポイント上回る結果となった。

期日前投票については、石巻市において昨年度執行された第26回参議院議員通常選挙に引き続き、移動期日前投票所を試行設置されたほか、他自治体でも大型商業施設や大学への設置など、89か所で行われた。今回、期日前投票を行った選挙人は、期日前投票制度が広く浸透したことなどもあり、192,205人となり、前回（令和元年：149,639人）と比べ、1.28倍の伸びとなった。

開票は無投票となった5選挙区を除く18選挙区の市区町村において即日開票で行われ、市区町村の開票速報は、従前のおり午後9時現在を第1報として30分ごとに中間速報を発表した。

なお、開票速報において集計誤り等の事務ミスはなく、翌23日午前0時44分の仙台市青葉区から

の報告を最後に、全市区町村の開票が終了し、県選挙管理委員会において審査を行った後、午前0時55分に開票結果が確定した。

選挙会は10月24日に各地方支局で開催し、選挙区ごとに当選人を決定した後、直ちに当選証書が付与され、無事終了した。党派別の当選人数は自由民主党24人、立憲民主党10人、日本共産党5人、公明党4人、日本維新の会2人、無所属14人であった。新現元別では現職41人、元職2人、新人16人となり、男性49人、女性10人という結果となった。

今回の県議会議員一般選挙において注目すべき事項としては、立候補届出用紙の電子ファイルの提供と投・開票速報における開票中間数速報の即時公開である。まず、立候補届出用紙であるが、立候補予定者・政党等説明会において候補者側に県選挙管理委員会で準備した紙ベースの用紙を提供し、手書きを基本としていたが、今般のDX推進等を踏まえ、本人届出用の用紙を加工可能な電子ファイルを調製して、県選挙管理委員会のホームページに掲載することで、候補者側の事務負担軽減と利便性向上を図ったものである。次に、投・開票速報における開票中間数速報であるが、これまで、定時における市区町村からの速報を全市区町村揃ってから一括公開としていたものを市区町村から報告があった都度、即時ホームページへ公開としたことで、選挙人等に対する開票状況の迅速な公開を図ったものである。

また、県議会議員一般選挙と同時執行となった10月22日には、女川町長選挙（無投票）のほか、亘理町（無投票）、山元町（無投票）及び女川町の3町の議会議員選挙が執行され、無事終了した。しかしながら、亘理町議会議員一般選挙では定数16に対し、立候補者が15人となる定数割れが生じた。県選挙管理委員会において確認できる範囲内では、宮城県内の自治体で初めての事案となった。